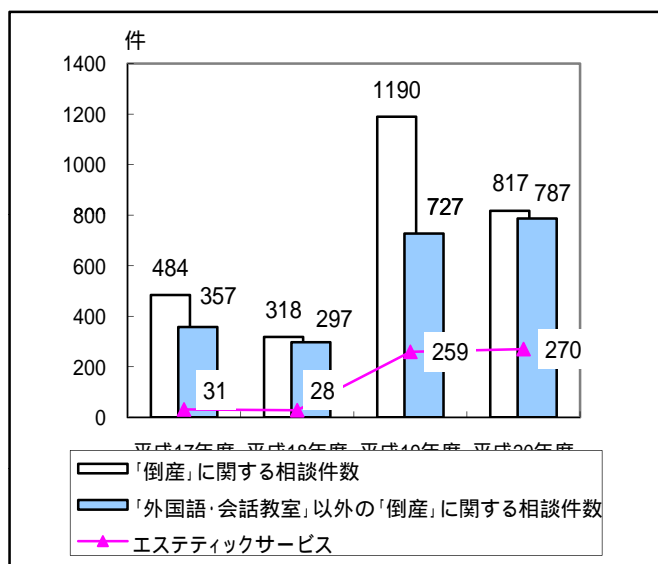


(2) 「倒産」に関する相談

「倒産」に関する相談は、平成19年度より急増し、そのまま高水準を維持している。ただし、平成19年度に特に急増した「外国語・会話教室」の倒産に関する相談については、平成20年度に入り落ち着きを見せている。

「倒産」に関する相談の中で最も多いのは、エステティックサービスに関するものである。その他、海外留学や海外旅行の仲介業者の倒産、賃貸アパートの家賃保証会社等の倒産、マンションや戸建住宅等の販売・工事業者の倒産に関しても、相談件数の増加が目立っている(図-7/表-5)。

【図-7】「倒産」に関する相談件数の推移



【表-5】「倒産」に関する相談件数のうち、主な商品・役務の相談件数

	「倒産」に関する相談件数	外国語・会話教室	エステティックサービス	海外旅行・海外留学	賃貸アパート	マンション・戸建住宅
平成17年度	484	127	31	5	5	4
平成18年度	318	21	28	1	4	5
平成19年度	1,190	463	259	10	6	1
平成20年度	817	30	270	38	22	23

「倒産」に関する相談件数の中で最も多く寄せられた、エステティックサービスについての相談件数は平成20年度では270件あり、エステティックサービス全体に関する相談件数のうち約4割を占めている。(図-8)

【図-8】エステティックサービスの相談件数の推移

